

# 事後評価報告書

機関名：大阪市立大学

大学等研究者名：大学院 創造都市研究科 教授 ベンカテッシュ ラガワン

課題名：オープンソース GIS と利用促進オープンシステムの研究

## 1．目的

本研究は、空間情報科学のためのフリーオープンソースソフトウェア（FOSS4G）統合パッケージ「OSGeo4W7」の開発、プロトタイプ構築を行い、日本国内へのオープンソース GIS 等の普及促進を図る

## 2．成果の概要

空間情報科学のためのフリーオープンソースソフトウェア( FOSS4G )統合パッケージ「OSGeo4W7」の開発、プロトタイプ構築を行った。平成 22 年 9 月 FOSS4G 国際カンファレンスにおいて発表を行い、「OSGeo4W7」の正式リリースを発表した。日本語サイトを整備し「OSGeo4W7」の利用が従来より容易になるとともに、チュートリアルを提供により容易に導入が可能となった。また Android 端末用プロトタイプシステム作成を行った。

## 3．総合所見

企業研究者の活用により概ね想定通りの成果が得られた。

当初の計画にそって目標が十分に達成されている。特許出願はないが日本情報地質学会や国際会議、地理情報システム学会にて発表されており妥当と言える。企業は大学インキュベータを利用して企業の研究室を置き、「OSGeo4W」最新版開発環境と日本語サイト作成環境、プロトタイプの維持のための仮想サーバー機器を設置してつねに情報交換を行った。

この種の研究は実際の応用において予期せぬ動作不良やおもわぬバグでフリーズすることがほとんどないことが重要となる。そのため多くの事例をこなすことが必要であり、アウトリーチ活動の支援やプロトタイプ事例の追加を行い、利用促進のプラットフォームとすることは必要不可欠と思われる。